



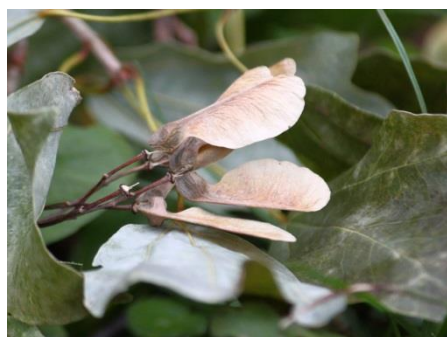
愛川ふれあいの村10月の風景

平成25年 10月 自然のたより

空は高く、どこまでも青いかと思いきや、突然高取山の向こうから重く立ち込める雲が流れてくることもあります。そして、村内を歩いていると、ギンナンやカキなど色々な実がなっています。まさに「空高く馬肥ゆる秋」。過ごしやすい気候になりました。澄んだ空気の中、虫の声を聴くと秋の深まりを感じます。



翅を震わせるアオマツムシのオス



トウカエデのタネ



白く小さい可憐なシモバシラの花



カキの果実



ブナの殻とタネ



堅いフジの実



サンショウの実



クビキリギス



ホシホウジャク



においの強いギンナン



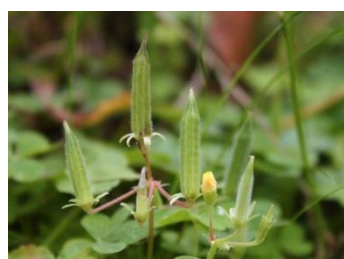
ツツレサセのメス



シラカシ (ドングリ)



小さいゲンノショウコ



カタバミのタネと蕾



テイカカズラの細長い実

★くるくる回るタネ！？★

トウカエデのタネには「羽」がついています！

村のトウカエデが、だんだんと紅葉してきました。今の時期、たくさん枝についているトウカエデのタネ。よく見ると、枝の先端についている丸いタネからヘリコプターの羽が生えているように見えます。羽の部分が風をとらえて、ただ落ちるのではなく、くるくる回ってゆっくり落ち、遠くまでタネを飛ばすことが出来るのです。台風の影響で、村にはたくさんのタネが落ちています。

拾ったら天に向かって、優しく投げてみてください。くるくる回って飛んでいる姿が見られますよ。



★アオマツムシの鳴き声★

8月下旬から「リューリューリュー」と虫の声が聞こえています。これは秋虫の一種の「アオマツムシ」という昆虫です。鳴くのはアオマツムシのオスのみで、体全体は緑色で背中の中（ハネ）の一部が茶色になっています。この茶色の部分は薄く、この翅を震わせて、甲高い音を響かせます。これがアオマツムシの鳴き声です。

アオマツムシが鳴く理由は主にふたつあります。1つめはメスを呼び子孫を残すため、2つめは自分の縄張りを他のオスに知らせるためです。しかし、アオマツムシは体の色と葉の色が同化しているため、翅を震わせて音を出している姿はなかなか見つけることができませんが、鳴き声を頼りにアオマツムシを探してみてもいいかもしれません。

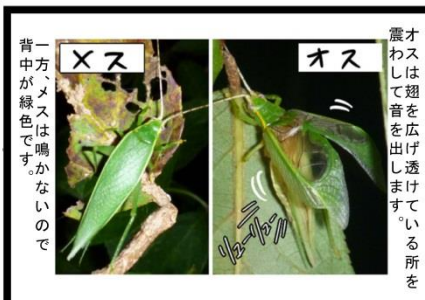


▲アオマツムシのメス



▲鳴いてるアオマツムシのオス

よるのおさんぽ



発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・葉青芳

文章：葉青芳・大瀧裕基子

漫画・イラスト：葉青芳

編集：葉青芳・加藤文昭

愛川ふれあいの村
で、検索★

